

# 北中だより

校訓：自主 明朗 協同

南島原市立北有馬中学校  
令和5年3月15日発行  
文責：校長 上田 敏浩

## 第76回卒業証書授与式 挙行 ～25人が学び舎を後に～

3月14日（火）、第76回卒業証書授与式を行いました。当日は、肌寒い朝となりましたが、よい天気恵まれ、来賓の方々にも参列いただいたの式となりました。

吹奏楽部の「威風堂々」にあわせ、堂々と入場した卒業生たち。卒業証書授与で、証書を受け取る際には、一人一人が感謝の気持ちを表しながら卒業証書を受け取りました。校長式辞では、「先輩のようにありたいという、憧れの文化を築いたこと」「これからも人や地域を思う心を大切にしてほしい」「課題に立ち向かい、解決を目指し、周りの人と手を携えて平和な世界を築き、よい人生を歩んでほしい」と伝えました。また、教育委員会告示では「思いの強さが未来を切り拓く」、「北有馬中学校での学びや様々な体験をとおして身につけた力と強い思いで、未来を切り拓いてほしい」という言葉をいただきました。南島原市長様からは「時代がどのように変わろうとも、私はこのように生きていく、このようにして社会に貢献していく、など、確固たる信念を持っていれば、どのような困難も恐れることはない」という、力強い言葉をいただきました。池田PTA会長様からは、「家族や周囲の大人、友達など見守ってくれる人がたくさんいる。ふるさと北有馬も同様。それぞれの未来に向かって力強く歩み続け、新しい世界へ羽ばたいてください」という、温かい言葉をいただきました。

送る言葉では、代表の志岐朋ノ佳さんが、学校行事を振り返り、感謝の思いを述べるとともに、「先輩方の頼もしく大きな背中を見てきたが、これからは後輩に見せる側だと自覚し、より良い学校を作っていく」と、述べました。在校生は「絆」を合唱し、卒業生への思いを歌声で届けました。

別れの言葉では、代表の林田祥汰さんが、コロナ禍での学校生活を振り返り、つらいこと、楽しいことも共に乗り越え、共に感じ、共に過ごした仲間への思いを伝えました。また、職員、保護者、在校生へのお礼を述べました。最後は、感謝の言葉を英語で締めくくりました。卒業生は「旅立ちの日に」を合唱しました。永友晶さんの心のこもった伴奏にのせて、中学校生活への別れの寂しさと、未来への希望をこめて歌いあげました。

校歌を斉唱して式を閉じ、旅立ちを祝う思いにあふれた吹奏楽部の演奏と参列者の温かい拍手に包まれ、卒業生は体育館を後にしました。

校内は、卒業を祝う言葉や花で飾られました。また、卒業生から在校生へのメッセージも掲示され、先輩として、後輩を思う姿を最後まで示してくれました。



卒業式の様子



卒業を祝う在校生からのメッセージ



卒業生から在校生へのメッセージ



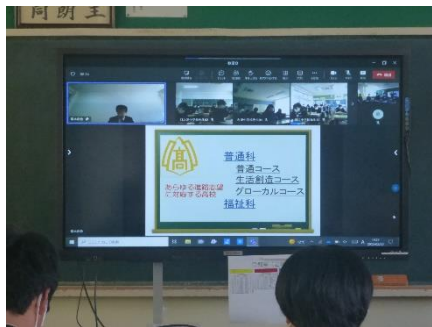
学び舎をあとに、希望の未来へ歩みだす

## 進路について学ぶ ～高校説明会・ようこそ先輩～

2月20日（月）、口之津中学校をホスト校として、口加高校や島原翔南高校などをオンラインで結び、1・2年生を対象に高校説明会を開催しました。当日は、高校の先生方から各高校の取組や様子などについて、お話をいただきました。各高校の育成したい生徒像・求める生徒像などについては、長崎県教育委員会のHPでご確認ください。

また、3月6日（月）には、2年生を対象に、島原翔南高校を今春卒業した本校の卒業生2名に、学校生活について語ってもらいました。自身の体験から、進学や就職の進路決定を早くしておくことが大切だと、伝えてくれました。

3月7日（火）・8日（水）に、公立高校の後期入学検査が終わり、今年度の主な入試は終了しました。15日（水）の合格発表では、すべていい結果となりました。1・2年生の皆さん、まだまだ先のことと思わず、いずれやってくるその日のために、日々の学校生活を大切にしていきましょう。



各高校の説明（口加高校）



1・2年生で説明を聞きました



島原翔南高校卒業生の話

## ひとことふたこと

ロータリーの庭に植えてある桜の木が、開花しました。この庭には、「北中第九回卒業生一同」との記念碑がありますので、昭和30年度（昭和31年3月15日）御卒業の皆様の記念樹。

卒業式の前は、まだ赤く色づきながらもつぼみでした。桜の木も、開花日を卒業式に合わせ、祝ってくれているようでした。

